

令和7年度 地域連携推進会議議事録

1. 事業所名 障害者支援施設「第一たちばな学園」
2. 日時 令和8年3月11日(水) 9時50分～11時30分
3. 場所 第一たちばな学園 2階会議室
4. 出欠

地域の関係者	2名
利用者	2名
利用者家族	1名
事業所職員	3名(管理者・サービス管理責任者・生活支援員)
その他法人職員	3名
・出席者	合計 11名
・欠席者	なし
5. 議題

第1号	地域連携推進会議の概要について
第2号	社会福祉法人たちばな会及び第一たちばな学園の概要について
第3号	意見交換

定刻前であったが、出席予定者全員が揃ったため事務局が開会を宣し、次第に沿って進行に入った。

理事長(事業所管理者兼務)の挨拶の後、事務局から出席者の紹介と各自より自己紹介があった。

事務局進行により議題に入った。

第1号 地域連携推進会議の概要について

事務局から資料に口頭で内容を付け加えながら今回の地域連携推進会議の目的や内容について説明があった。日本各地で福祉施設の不祥事があることも加えて報告され、地域の方や家族など第三者の目を入れることで透明性を確保し不正防止につなげたい旨を場に伝えた。

特に質問等はなく、議題第1号を終えた。

第2号 社会福祉法人たちばな会及び第一たちばな学園の概要について

事務局から資料を基に説明が行われた。

特に質問等はなく、議題第2号を終えた。

第3号 意見交換

- 地域の関係者 外出などはどうされていますか。
- 事業所 職員の付き添いによってのみ行っています。また、盆正月を中心に帰省されることもあります。しかし、親の高齢化で近年は極端に減っています。平成26年7月にこの場所に施設が移ってきましたが、何か変化はありましたか。
- 地域の関係者 今のところ聞かない。夏祭りなどの催しではお世話になっている。
- 事業所 敷地の駐車場から国道を眺めている利用者があるが。ここはスクールゾーンになっており気になっている。
- 地域の関係者 特に問題はないよう。
- 保護者 親が高齢なので帰省は難しい。頻繁に面会に出向いているが、感染症の要因で面会できないときは事前に教えてほしい。
- 事業所 収穫祭には友人も訪れたと聞いている。多数の地域の方と障害者が同じ空間に集えていることは感じが良かった。障害者理解の啓発になっているのでは。
- 事業所 利用者の高齢化、重度化にはどう対応されているか。
- 事業所 20年前、10年前とは支援の中身が全く変わった。以前は宿泊を伴う旅行もしていましたが、現在は利用者の重度化による負担も考慮し近いところで日帰り旅行をしています。現在、身体的な介護が必要な方が増えている。車椅子を増台したり、介護用ベッドを導入したり対応している。また、介護福祉士等の有資格者を増やし利用者へ質の高い支援の提供に繋げている。
- 利用者 ここでの生活は楽しいです。友達と仲良くしています。旅行が一番の楽しみ。食事もおいしいです。水泳を頑張っています。
- 地域の関係者 周辺の田んぼの消毒をする際に事前にお知らせすることが漏れていたことがあった。天候次第なところもありいつ行うか決め辛い。
- 事業所 分かる範囲で結構です。連絡いただければ助かります。
- 事業所 災害時の避難場所について、この施設はまず垂直避難を考えています。また、食料などの備蓄もあります。近隣の住民の方で指定避難所へ移動することが危険である場合は、緊急的にこの施設に駆け込まれても結構です。
- 地域の関係者 利用者の費用はどうなっている。
- 事業所 入所されている方は皆さん障害年金を受給されています。その中で十分入所費用は賄えます。また、年金から幾分残るように補足給付費が支給されています。その中で被服費や娯楽費に支出してもらっています。
- その他、意見を募ったが特になく、議題第3号を終えた。

この後、施設内の見学を行うことを伝え、一旦の会議の終了を宣した。

一同、見学後11時30分散会した。